

# 令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27009

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇児童アンケートの結果から、学習面において以下の項目で非常に高い割合が示された。</p> <p>「よく聞き、考え、話し合い、進んで学ぶことができた」 → はい：90%</p> <p>「学習準備や家庭学習に進んで取り組めた」 → はい：82%</p> <p>特に、「聞く・考える・話し合う」といった学習の基本的なプロセスについて、多くの子どもが「できている実感」をもっていることが分かった。これは、研究主題である「主体的に学び、対話を通して伸びる子の育成」が、子ども自身の自己評価として表れている成果と捉えている。</p>
	<p>◇児童アンケートの結果から</p> <p>約1~2割の子どもが「主体的に進んで学ぶ」ことに難しさを感じている。単元や教科によって主体性の表れ方に差がある。</p> <p>「聞く・話す」はできるが、「何を問いとして深めるか」が曖昧になる。</p> <p>↓</p> <p>◎「主体的言学習を進めること」と「対話」をより確かな学びに高めていく段階へ</p> <p>主体的に生まれた考えを、どこまで深めればよいのか。 対話の中で、何を比べ、何を焦点にすればよいのか。 考えの広がりや、どのように整理し、表現につなげるのか。</p>
	<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の態度〉の現状と課題</p> <p>◇上記にもあるとおり、人の話を聞く、自分の考えを話すということはできてきている。しかし、「問いに対する深まりに課題があること」や、子ども自身が「主体的に話し合い、友達の意見を聞くことで自分の考えを深めていく」という姿勢に至るにはまだまだ発展途上である。そのため、学年に応じて「課題に対する考えを深めること」や「対話を通して他者とつながっていくこと」を通して、自らの考えをブラッシュアップしていく姿勢を育てていく。</p>
<p>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力</p> <p><b>問題意識の醸成 対話で深めていく力</b></p>	
	<p>課題探究的な学習の推進 に向けて</p> <p>①比較を通して問題意識を持たせる授業作り</p> <p>②子どもが考えを吟味し、対話で深めていく姿勢を育む。</p> <p>そのために、協働解決の際に教師が考えを焦点化するかかわりをする。</p>
	<p>自治的な活動の充実 に向けて</p> <p>①学級会、委員会活動の充実</p> <p>→子どもたち主体で話し合いを進行していけるように関わる。</p> <p>学級会を基盤として、委員会活動につなげる。</p> <p>②パートナー校とのさっぽろっ子サミットへの参加やそこで決まった企画の推進</p>
取組	<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>○学びポケットのオクリンクプラスを活用して個人の意見を全体で共有することができる授業作りを行う。 →導入部分に使えば問題意識を育むことにつながり、中盤に使えば目指している対話につながる。</p>

<本プログラムの実行に向けて>



